

県勢躍動2冠

東京都内で開かれたジャズダンス最難関とされる「第二十三回JDAダンスコンクール」(日本ジャズダンス芸術協会主催)で、県勢が一般、ジュニア(小学生)両部門で優勝した。優勝したのは「三代真史ジャズ舞踊団」(MMD C)名古屋市の「プリマダンサー乗倉奈津美さん(23)＝同市中区＝と十二歳の男女五人チーム「MMD Cジュニア」。中高生部門で「MMD Cつるが」(福井県敦賀市)と「MMD Cティナー」(名古屋市中区)が二、三位に入賞した。三代さんが非常勤講師としてダンス指導をする名古屋文化短期大(同市東区)二年生チームも一般部門で二位に入った。乗倉さんは軸受け製造大手の

最難関 ジャズダンス全国大会



JDAダンスコンクールで優勝した乗倉奈津美さん(手前右)ら上位入賞した皆さん＝中日新聞社

大同メタル工業前原工場(犬山市)に勤務の傍ら、国内外のダンス公演に主演。夫の三代さんは、田中逸也君(21)武豊町武

名古屋の三代真史ジャズ舞踊団

が振り付けた、いすを使った難度の高い作品を切れ味鋭くしなやかに踊って栄冠をつかんだ。「周りが支えてくれたおかげ」と控えめに喜びを語った。

受賞披露兼ね7月に公演

豊中一年、山岸桃果さん(21)名古屋市中区小五年、岩下莉果さん(21)長久手市市が洞小六年、小関優子さん(21)名古屋市中区小五年、松川怜奈さん(21)武豊町衣浦小五年の五人。三つ星レストランの調理室で、客の注文を手際よく料理するシェフ五人の様子をコミカルに、アクロバットを交えて踊った。

リーダーの田中君は「過去二回は三位、二位と悔しい思いをしたので、本当にうれい」と笑顔。二度目の「指導者賞」を受賞したインストラクターの川地舞子さん＝名古屋市中区＝は「甘えを許さない鬼ババとなつて、子どもたちを指導したのが爽りました」と話した。

受賞披露を兼ねた舞踊団選抜公演は七月八日、同市中区栄のアートヒアホールである。

(長谷義隆)